

令和7年度 学校経営方針

鳥取県立鳥取養護学校

＜学校教育目標＞ 夢や希望に向かい 自分らしく輝いて たくましく生きる力を育む
～「〇〇したい」と主体的に生きる姿を求めて～

＜めざす児童生徒の姿＞

- 自分のよさや可能性に気づき、目標をもって、前向きに努力する児童生徒
- 進んで学び、自分で考え、豊かに表現する児童生徒
- 自分も友だちも大切に、豊かな人間関係を築く児童生徒

＜めざす学校像＞

- ・能力と可能性を最大限に伸ばし、豊かに生きる力を育む学校
- ・安全で安心な環境のもとで、専門性の高い特別支援教育を提供する学校
- ・病弱教育・肢体不自由教育の発展に貢献し、地域から信頼される学校

＜めざす教職員像＞

- ・自らの使命と役割を自覚し、よりよい授業をめざして学び続ける教職員
- ・仲間を信頼し、折り合いをつけながら協力し合う教職員
- ・子どもたちや仲間の姿に学び、自らの価値観を上げようとする教職員

＜学校経営の重点＞

○ 一人一人の可能性を広げる主体的で多様な学びの推進【教務部・授業づくり部・自立活動部】

- ・カリキュラム・マネジメントの確立（指導と評価の一体化、学びに適した教育課程の創造）
- ・的確な実態把握、児童生徒理解に基づいた指導
(共通した実態把握ツールの活用、自立活動（摂食指導を含む）の充実)
- ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
(教科指導の充実、「鳥養スタンダード」の確立、学習空白への対応)
- ・効果的なICT機器活用（ねらいの明確化）

○ 社会と主体的に関わる自信と勇気を取り戻す豊かな体験の創造【豊かな体験部・キャリア教育部】

- ・「豊かな体験」を基軸に据えた学校行事の変革
- ・自分らしさや夢を実現するキャリア教育の推進（特別活動の充実、共同及び交流学习の推進）
- ・保護者（地域）を巻き込んだ教育活動の創造（CSとの連携）
- ・人の生き方に学ぶ人権教育の創造

○ 「生きたい」を保障する教育活動・環境の整備【保健安全部・環境安全部・事務部】

- ・教職員の連携による安全な医療的ケア、個別の緊急時対応の見直し、安全な給食の提供、病院との連携
- ・健康教育（食育・保健教育）、性に関する指導の充実
- ・災害に備えた防災体制の整備
- ・事故防止・再発防止の徹底（ヒヤリハットの在り方の検討）
- ・SBの運営（運行に関わる保護者・バス会社との調整等）

○ 主体的な生き方を支える支援体制、連携の強化【支援部】

- ・校内支援、教育相談体制（外部との連携）の強化（SSW、SC、ST、OT、PTの効果的な活用）
- ・生徒指導の充実（未然防止、早期発見、早期対応、児童生徒の居場所づくり）
- ・センター的機能の充実（小中学校への相談体制強化、情報発信の工夫）
- ・ほっとルームの効果的な活用（不登校傾向、学び直しなどへの対応）

※教職員の専門性向上（効果的な校内研修体制づくり、校内外の人材活用、研修動画の活用）

※業務の効率化、健康的で働きやすい職場環境整備（AIの活用、とりようのトリセツ、情報共有DB活用）

※5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）＋1C（確認）・情報管理の徹底

（【 】内は、主にグリップする分掌、※印はすべての分掌で）